

目標達成計画

作成日: 平成 27年 1月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	運営に関する利用者や家族等への反映	多くの家族が参加しやすいように、集まる機会を作り、家族同士で話し合える場を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者と家族と一緒に参加出来るイベントを計画し、普段からのコミュニケーションを密にして行く。 ・運営推進会議には多くの家族に参加して頂けるよう事前に声かけしていく。 ・推進会議には家族からの意見を引き出し運営に反映していく。 	6ヶ月
2	35	災害対策・地震・水害等、災害時の備蓄が少ない	非常時は直ぐに対応出来るように、食料や必要な物品を検討し、3日以上は確保出来るようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の食材購入時に缶詰等の食糧や物品を少しずつ確保して行く。 ・備蓄は4～5日分対応出来るように確保する。 ・賞味期限を注意して補充していく。 	6ヶ月
3	23	一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向の把握	日常生活の中で利用者さんに傾聴する時間を多くもち、その人らしいケアに繋げるように取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の散歩や庭での日光浴や、おやつ時等の、ゆっくり過ごせる時に、時間を掛けて話を聴きながら、思いを聞き取るようにする。 ・記録には本人が言った言葉や表情を明確に記入する。 ・入居当時のフェイスシートに今の思いを追記し、職員間で共有し、個々の暮らし方に活かしていく。 	6ヶ月
4	40	食事を楽しむ事の支援	同じ食材や、形、内容が重複しない様に工夫して行く	<ul style="list-style-type: none"> ・台所や冷蔵庫の前に献立表を作り貼り、誰がみても一目で分かるようにする。 ・食事を作る前には前日までの献立表に目を通し、同じ献立にならないよう、十分気をつける。 	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。